

運動習慣

天候や季節に左右されない室内遊技場があると嬉しい！

母子保健活動を通じて運動の大切さを啓発、スポーツ教室等の社会教育事業の普及を進めたい！

帰宅後ゲームの時間をとることで気持ちをリセットしているのかも？



学校では既に取り組んでいるが、PTA・教育委員会等とも連携し、講演会や健康教室等でスマホ・ゲームの影響に関して親子で学べる機会があったらいいかも…

【習い事のメリット】

- ・集団の力が身につく
- ・体力がつく
- ・成果を発揮する経験が出来る
- ・睡眠の質が向上

SNS使用については保護者自身も使用時間を意識すること
ルール設定が重要△

生活習慣

認定こども園、小学校、中学校に世代別の生活リズム表(お手本)を配布してはどうか？

習い事をしている小学生の約4割が9～12時間の睡眠時間を確保できていない
+
スマホの使用時間を決めていない
中学生の就寝時間が遅い
↓
日中に眠たい子がいる

起床時間が決まっているのはいいこと◎

眠たくなくても、睡眠時間が確保できていなければ意味がない？



MOR
TUE
WED
THU
FRI
SAT
SUN

歯科保健

1人平均虫歯数は第2期計画時より改善！
依然、1人の子だけが多くのむし歯を有する傾向

歯科保健事業の成果も大きい！！

Thank you so much



家庭格差

朝食欠食率
・認定こども園 96.7%
・小学校 97.8%
・中学校 76.0%

【理由】
・食欲がない
・いつも食べない



養育環境

町内に小児科がなく不便…

認定こども園から学校給食まで野菜が多くて健康的ありがたい…



こども家庭センターの普及と活用の促進が必要

・徒歩で通学できない地区がある
・マラソン大会の廃止
・SNSの普及

外で遊ぶ機会や日常的に運動する機会の減少

運動やスポーツを楽しむと思うチャンスが減る

日頃から、もっと気軽に保健師に相談してほしい！

小さな町だからこそ手厚い支援が出来る？

養育技術や上の子への対応に関する悩みが多いが、悩んでも解決出来たり、育てにくさを感じても対処できる母親の割合が多い

親側の困り感と、支援者が思う、実際の支援の必要性に違いがあることもあり困っている当事者から相談されることが少ない…

支援が必要な母子には働きかけが必要！

相談件数は増加傾向

特別支援学級の子どもの進路について、親も含め学習の機会を設ける必要があるのかな？

認定こども園→小学校→中学校までは手厚い支援ある反面、高校進学や就職の際ギャップに戸惑うことも…

特別支援学級に行く保護者の不安は減っている

支援が必要な母子には関係機関と連携し医療機関や療育機関につなげることができている

出生数は減少…

	出生数	18歳までの子どもの数
R4	9人	330人
R5	9人	318人
R6	3人	303人

	18歳未満の相談(面談・電話)		家庭訪問	
	実	延べ	実	延べ
R4	66	117	18	26
R5	108	294	7	11
R6	118	346	9	16